

2021年度

中国古典文化講座

わたしたちに語りかける中国古典文化

唐宋時代の恋のうた

— 詞に親しむ —

講師

松尾肇子氏

立命館大学白川静記念
東洋文字文化研究所
客員協力研究員

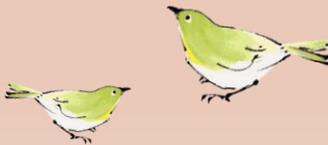
場所

立命館大学衣笠キャンパス
平井嘉一郎記念図書館
カンファレンスルーム
& オンラインライブ配信

2022年

1/15(土)

13:30~15:00



聞けばあの頃に戻る歌、これは私の事だと涙した歌。歌には不思議な力があります。流行歌謡は時代とともに移り変わりますが、いつの時代も、どこでも、その最大のテーマは恋でしょう。恋に落ちる、待つ、疑う、恐れる、そして失う。ただ、それを詠む社会的背景や道具立てには、それぞれの歴史や文化が反映されます。

文字のくに中国では、『詩経』以来、曲は失われても、歌詞は記録されて伝わってきました。「詞」は唐に始まり、宋に爆発的に流行し、やがて音楽を失って韻文の一体となっていきました。そこにも多くの恋歌が残されています。そのいくつかを読みときながら、「詞」とはどういうものか紹介し、ヒットの秘密はどこにあったのか、人々はどのように楽しんだのか、などを考えてみたいと思います。

参加無料

お申込はこちらから

